

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【公表番号】特表2003-520763(P2003-520763A)

【公表日】平成15年7月8日(2003.7.8)

【出願番号】特願2000-598059(P2000-598059)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/70 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/70

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 45/06

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

A 6 1 K 37/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年8月2日(2010.8.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

炎症性サイトカインの H M G 1 媒介性活性化を防止する H M G 1 のアンタゴニストであって、該アンタゴニストは、H M G 1 タンパクと特異的に結合する抗体もしくはその断片、および H M G 1 遺伝子アンチセンス配列からなる群から選択される、該アンタゴニスト。

【請求項 2】

H M G 1 タンパクと特異的に結合する抗体もしくはその断片である、請求項 1 に記載のアンタゴニスト。

【請求項 3】

ポリクローナル抗体またはモノクローナル抗体である、請求項 2 のアンタゴニスト。

【請求項 4】

H M G 1 遺伝子アンチセンス配列である、請求項 1 に記載のアンタゴニスト。

【請求項 5】

(a) 炎症性サイトカインカスケードの H M G 1 媒介性活性化を防止する H M G 1 のアンタゴニストであって、該アンタゴニストは、H M G 1 タンパクと特異的に結合する抗体もしくはその断片、および H M G 1 遺伝子アンチセンス配列からなる群から選択される、

(b) T N F、I L - 1 、 I L - 1 、 M I F 又は I L - 6 のアンタゴニストを含む、医薬組成物。

【請求項 6】

前記成分 (a) が、H M G 1 タンパクと特異的に結合する抗体もしくはその断片である、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記抗体がモノクローナル抗体またはポリクローナル抗体である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記成分 (a) が H M G 1 遺伝子アンチセンス配列である、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記成分 (b) が、T N F に対する抗体あるいは I L - 1 受容体アンタゴニスト (I L - 1 r a) である、請求項 5 ~ 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

炎症性サイトカインカスケードの活性化を特徴とする症状 (疾患) を治療するための医薬を製造するための、炎症性サイトカインカスケードの H M G 1 媒介性活性化を防止する H M G 1 のアンタゴニストの使用であって、該アンタゴニストは、H M G 1 タンパクと特異的に結合する抗体もしくはその断片、および H M G 1 遺伝子アンチセンス配列からなる群から選択され、該疾患は、敗血症、急性膵炎、成人呼吸窮迫症候群 (A R D S)、再還流傷害、心臓血管性疾患、腹膜炎、リウマチ性関節炎、変形性関節症、炎症性腸疾患、全身性エリトマトーデス、喘息、器官移植片拒絶、移植片対宿主疾患、悪液質、嚢胞性繊維症、乾癬及び多発性硬化症からなる群から選択される、該使用。

【請求項 11】

前記アンタゴニストが H M G 1 タンパクと特異的に結合する抗体もしくはその断片である、請求項 10 に記載の使用。

【請求項 12】

前記抗体がモノクローナル抗体もしくはポリクローナル抗体である、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 13】

前記アンタゴニストが H M G 1 遺伝子アンチセンス配列である、請求項 10 に記載の使用。

【請求項 14】

前記疾患が敗血症である、請求項 10 ~ 13 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 15】

前記疾患が再還流傷害である、請求項 10 ~ 13 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 16】

前記疾患がリウマチ性関節炎である、請求項 10 ~ 13 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 17】

前記疾患が多発性硬化症である、請求項 10 ~ 13 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 18】

前記疾患が心臓血管性疾患である、請求項 10 ~ 13 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 19】

前記心臓血管性疾患が、心臓性昏倒症候群、心筋梗塞およびうっ血性心不全から成る群から選択される、請求項 18 に記載の使用。

【請求項 20】

前記抗体が、キメラ抗体、一本鎖抗体、ヒト抗体及びヒト化型抗体から成る群から選択される、請求項 2 または 3 の抗体、請求項 6 または 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 21】

前記抗体が、アミノ酸配列 G K G D P K K P R G K M S S C (配列番号 4) からなるペプチドに結合し得る、請求項 2 もしくは 3 に記載の抗体、または請求項 6 もしくは 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 22】

前記抗体が、抗体の断片である、請求項 2、3、20 および 21 のいずれか一項に記載の抗体、または、請求項 6 もしくは 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 23】

前記抗体の断片が F a b 断片である、請求項 22 に記載の抗体または医薬組成物。

【請求項 24】

前記抗体が、キメラ抗体、一本鎖抗体、ヒト抗体及びヒト化型抗体から成る群から選択される、請求項 11 または 12 に記載の使用。

【請求項 25】

前記抗体が、アミノ酸配列 G K G D P K K P R G K M S S C (配列番号 4) からなるペプチドに結合し得る、請求項 11 もしくは 12 に記載の使用。

【請求項 26】

前記抗体が、抗体の断片である、請求項 11、12、24 および 25 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 27】

前記抗体の断片が F a b 断片である、請求項 26 に記載の使用。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

炎症性サイトカインカスケードにより媒介される疾患および症状は、多数ある。このような症状としては、以下に群別された疾患カテゴリーが含まれる：

全身性炎症性応答症候群、これには以下が含まれる：

敗血症症候群

グラム陽性敗血症

グラム陰性敗血症

培養陰性敗血症

真菌性敗血症

好中球減少性発熱

尿路性敗血症

髄膜炎菌血症

外傷性出血

唸音

電離放射線曝露

急性膀胱炎

成人呼吸窮迫症候群 (ARDS)

再還流傷害、これには以下が含まれる：

後ポンプ症候群

虚血再還流傷害

心臓血管性疾患、これには以下が含まれる：

心臓性昏倒症候群

心筋梗塞

うっ血性心不全

感染性疾患、これには以下が含まれる：

H I V 感染 / H I V ニューロパシー

髄膜炎

肝炎

敗血症性関節炎

腹膜炎

肺炎喉頭蓋炎

大腸菌 O 1 5 7 : H 7

溶血性尿毒症症候群 / 血栓崩壊性血小板減少性紫斑病

マラリア

デング出血熱

リーシュマニア症

らい病

トキシックショック症候群

連鎖球菌性筋炎

ガス壊疽

Mycobacterium結核（ヒト型結核）

Mycobacterium avium Intracellulare（鳥型結核菌細胞内物質感染）

Pneumocystis Carinii（ニューモシスティスカリニ）肺炎

骨盤炎症性疾患

睾丸炎 / 精巣上体炎

レジオネラ

ライム病

A 型インフルエンザ

エプスタイン - バーウイルス

ウイルス関連血球貪食(hemiphagocytic)症候群

ウイルス性脳炎 / 無菌性髄膜炎

産科学 / 婦人科学的症状、これは以下を含む：

早産

流産

不妊症

炎症性疾患 / 自己免疫疾患、これには以下が含まれる：

リウマチ性関節炎 / セロネガティブ関節症

変形性関節症

炎症性腸疾患

全身性エリトマトーデス

虹彩毛様体炎 / ブドウ膜炎視神経炎

特発性肺繊維症

全身性脈管炎 / ウェーゲナー肉芽腫症

サルコイドーシス

睾丸炎 / 精管切除反転術

アレルギー性 / アトピー性疾患、これには以下が含まれる：

喘息

アレルギー性鼻炎

湿疹

アレルギー性接触性皮膚炎

アレルギー性結膜炎

過敏性肺炎

悪性疾患、これには以下が含まれる：

A L L

A M L

C M L

C L L

ホジキン病、非ホジキンリンパ腫

カボジ肉腫

結腸直腸癌

鼻咽頭癌

悪性組織球増殖症

新生物随伴症候群 / 悪性疾患の高カルシウム血症

移植片、これは以下を含む：

器官移植片拒絶

移植片対宿主疾患

悪液質

先天性、これは以下を含む：

嚢胞性繊維症

家族性血液食細胞性リンパ組織球増殖症

鎌状赤血球貧血

皮膚科学的、これは以下を含む：

乾癬

脱毛症

神経学的、これは以下を含む：

多発性硬化症

片頭痛

腎臓性、これは以下を含む：

ネフローゼ症候群

血液透析

尿毒症

毒性、これは以下を含む：

O K T 3 療法

抗 C D 3 療法

サイトカイン療法

化学療法

放射線療法

慢性サリチレート中毒

代謝性 / 特発性、これは以下を含む：

ウィルソン病

血液色素症

- 1 アンチトリプシン欠損症

糖尿病

橋本甲状腺炎

骨粗鬆症

視床下部 - 下垂体 - 副腎軸評価

原発性胆汁性肝硬変